

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成28年度 **上半期(4月～9月)** の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	開戸センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	135	55.3%
延べ利用者数 (人)		4000	1574	39.4%
自主事業	実施回数 (回)	10	183	1830.0%
	利用者数 (人)	112	1404	1253.6%
収入	指定管理料 (円)	13,307,000	6,653,500	50.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	1,378,900	40.6%
	自主事業収入 (円)	696,000	842,150	121.0%
収入計 (円)		17,403,000	8,874,550	51.0%
支出	人件費 (円)	10,274,000	5,421,654	52.8%
	維持管理経費 (円)	6,286,000	2,372,869	37.7%
	自主事業関係経費 (円)	2,661,093	697,690	26.2%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		19,221,093	8,492,213	44.2%
収支 (収入－支出) (円)		▲ 1,818,093	382,337	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)		
【開館日数・利用者数について】 開館日数は、計画どおりである。利用者数についても昨年とほぼ同人数在籍している。新規利用者も順調に増えており、昨年度より改善がみられる。引き続き、啓発・広報活動を積極的に行っていきたい。	【事業の実施状況について】 通所事業は、要介護状態でない方を対象としたセンターであることの周知ができた。また、活動内容を見直し改善を図った。自主事業も新講座を立ち上げるなど、市民に喜ばれる事業展開を行った。	【収支状況について】 通所事業の収支は、良好である。自主事業についても良好であり、今後さらに収支のバランスに努め、市民の期待に応えられるようニーズにあった講座の立ち上げを積極的に行っていきたい。
所管課の評価 (指摘事項)		
【開館日数・利用者数について】 計画どおり開館されている。利用者数については、計画よりも下回っている。引き続き啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 事業の目的を理解する取組や周知により、事業運営は、おおむね良好である。	【収支状況について】 通所事業の収支は、良好である。自主事業については、収支のバランスに留意し事業を運営する必要がある。

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善

	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善	
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善	
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善	
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善	
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善	
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	8人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数6回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>通所事業の運営は、順調に問題なく実施できています。要介護状態でない方を対象としたセンターとして活動内容の改善を行った結果、利用者の中には、今まで以上に元気になり仕事復帰された方もいます。自分でできる事は自分で行っていただき、張りのある毎日を過ごしていただく手助けをしています。</p> <p>自主事業の運営も順調であり、講座数も増え、広報を始めパンフレットなどにより、周知もできています。引き続き、市民の方に喜ばれる講座の立ち上げに力を入れていきます。</p>
市による所見（指摘事項など）
<p>通所事業では、目的意識を持った取組ができており周知活動も積極的に実施していると評価できます。自主事業については、様々な分野の講座を実施しており、常に新しいことに取り組もうという姿勢が見られます。</p> <p>引き続き、収支バランスの適正に努めて事業を運営するようお願いいたします。</p>